

令和5年度 きゅうり 技術情報 No.5

大船渡農業改良普及センター
電話:0192-27-9918 FAX:0192-27-9936



- ① 栽培が終了したほ場では、来年の伝染源を減らすために、**残さ処理、資材消毒**を実施しましょう。
- ② **土壌分析**を実施し、来年の施肥設計に活用しましょう。

1 栽培終了後の管理

- 病害虫の発生防止のために、栽培終了後の株はすき込まずに、**抜き取り、圃場外へ持ち出して処分**しましょう。
- 今年度使用したネットやひもなどを再使用する場合は、**資材消毒**を実施しましょう。

薬剤の例：ケミクロンG（参考：メーカー資料）

本剤はさまざまな病原菌（糸状菌、細菌、ウイルス）に対し有効です。

<使い方>

- 1,000 倍液 → 10 分間浸漬
500 倍液 → ジョウロ散布または瞬間浸漬
- 使用後は十分**水洗い**するとともに、風通しの良い場所で**乾燥**後、清潔に保ちましょう。

<注意事項>

- 薬剤調整後は分解しやすいので、調整後 2～3 時間以内に消毒を終了しましょう。
- 残液・廃液は、直射日光に 1～2 日さらし、有効成分の消失を確認してから徐々に排水するようにしましょう。
- 使用前はラベルをよく読み、使用方法を守りましょう。

- 来年の施肥設計のために、**土壌分析**を行いましょう。JA おおふなと きゅうり部会員の皆さんは無料で実施することができます。詳細は JA おおふなとへお問い合わせください。

2 ホモフシス根腐病について

今年度は、高温でホモフシス根腐病が発生しにくい条件でしたが、過去に発生した圃場や昨年度の調査で陽性だった圃場では、引き続き注意が必要です。

他の生産者の圃場を訪問する際は、**靴カバー**やビニール袋で靴を覆う等、病原菌の伝染拡大防止に努めましょう。

★いわてアグリベンチャーネット URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>
岩手県からのお知らせに加えて、農業技術情報や病害虫に関する情報、各地域の情報など盛りだくさんです。ぜひご覧ください！！

★9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間

農業機械の基本操作を守り、無理のないスケジュールで作業を行いましょう。

令和5年度岩手県農作業安全スローガン「農作業 慣れと油断が 事故のもと」

★クマの被害に遭わないよう注意しまししょう！

エサになる物は片付ける、山等で遭わないために音を鳴らす、遭ってしまったら背を向けずに静かに下がる、など。 詳細は岩手県HP：<らし・環境 > 自然 > 野生動物 > ツキノワグマ